

2021年8月26日
(午後4時現在)
美須賀海運株式会社

当社管理船 座礁事故の件 (第5報)

8月11日(水) 八戸港外において、当社がMI-DAS LINE S.A.社(洞雲汽船株式会社の関連会社、以下「船主」)から船舶管理を請け負っております木材チップ専用船 CRIMSON POLARIS(クリムゾン・ポラリス、以下「本船」)が座礁し、船体の分断、油の流出が発生した件について、引き続き、船主手配による海上及び海岸における油濁の防除作業を継続する一方、船体に残る燃料油の抜取りを実施するための各種準備作業を各関係者と協力して進めております。

従前の計画は海象状況が油抜き取り作業の工程に大きな影響を与え、計画通りに作業が進まずに完了まで長時間要することが予想されておりました。

そこで、地元自治体、関係団体、漁業関係者、その他関係各位の皆様のご理解を頂き、従来の手法よりも海象の影響が少なく、且つ、安全に作業を行うため八戸港へ船体船首部を曳き入れた上で残存油の抜き取り作業等を行う計画を立てました。

つきましては、実施に先立ちまして、26日(木)14時より八戸市内のホテルにて船主説明会を開催し、計画変更につき説明を行いましたので報告致します。

第2回船主説明会の概要は以下の通りです。

1. 計画の概要 船主手配の残油抜取会社からのご説明

- ① 従前の計画(現場海域で燃料を抜き取る計画)の問題点(作業の長期化、荒天による走錨、他船との衝突、作業中の油流出、潜水士の安全)
- ② 船首部の状態(燃料タンク配管の閉鎖状況、船底全般に破孔がないことの確認、注水による傾斜調整、顕著な燃料油の流出がないことの確認、油抜き取りのための資機材の積込)
- ③ 燃料タンクの状態
- ④ 船首部を八戸港へ曳き込む場合の曳航体制、曳航経路、係留体制(1号D岸)、燃料油抜取り体制(1号D岸)
- ⑤ 現場の油防除船舶/資機材の体制、付近の油防除船舶/資機材の準備状況
- ⑥ 作業工程(船首部の残存油抜き取り完了予定:9月中旬見込、積荷陸揚げ完了予定:9月末見込)
- ⑦ 曳き入れ当日のタイムスケジュール(8月27日を予定)

2. 参加者(案内状送付先)

自治体(青森県、岩手県、及び六ヶ所村から野田村までの沿岸地域市町村)、税関及び警察署など関係機関、同沿岸地域の漁業協同組合、漁業関連企業及び港湾関係者の皆様など

今後も船主と共に進捗状況について適宜ご説明をさせて頂く予定です。

引き続き海上保安庁及び関係者と協力し、被害の最小化と早期の事態解決に向けて全力で取り組んでまいります。

以上